

平成26年9月16日
市長記者会見資料

平成26年度（第43回）川崎市文化賞等の受賞者の決定について

1 平成26年度川崎市文化賞等について

（1）川崎市文化賞

城谷 護

寺尾 嘉剛

奈良岡 朋子

炉端の会

（2）川崎市社会功労賞

井田 満夫

（3）川崎市スポーツ賞

東芝ブレイブサンダース神奈川

（4）川崎市アゼリア輝（かがやき）賞

細川 千尋

三寺 郷美

2 平成26年度川崎市文化賞等贈呈式・祝賀会

（1）日 時 平成26年11月10日（月） 14:00～16:00

（2）場 所 川崎市国際交流センター



（問い合わせ先）

川崎市市民・こども局

市民文化室 庶務・企画担当

電話 044-200-2029

<目次>

(ページ)

1	平成26年度川崎市文化賞等受賞者一覧	1
2	受賞者のプロフィール・略歴（敬称略）	
	(1) 川崎市文化賞受賞者	
	城谷 護	2
	寺尾 嘉剛	4
	奈良岡 朋子	6
	炉端の会	8
	(2) 川崎市社会功労賞受賞者	
	井田 満夫	10
	(3) 川崎市スポーツ賞	
	東芝ブレイブサンダース神奈川	12
	(4) 川崎市アゼリア輝（かがやき）賞	
	細川 千尋	14
	三寺 郷美	16
3	平成26年度川崎市文化賞等選考委員	18
4	贈呈式	19
	(参考)	
1	川崎市文化賞等実施要綱	20
2	これまでに受賞された方々	25
3	川崎市文化賞等の経過について	28
4	受賞者写真	29

平成26年度川崎市文化賞等受賞者一覧

(平成26年9月16日現在)

賞	区分	氏名(団体名)	年齢 活動 年数	功績分野	住所 (団体所在地)
文化賞	個人	しろたに まもる 城谷 護	73歳	文化活動	川崎市幸区
	個人	てらお よしたけ 寺尾 嘉剛	79歳	文化活動	川崎市川崎区
	個人	ならおか ともこ 奈良岡 朋子	84歳	芸術	東京都港区
	団体	ろぼた かい 炉端の会	20年	文化活動	川崎市多摩区
社会功労賞	個人	いだ みつお 井田 満夫	63歳	保健衛生	川崎市川崎区
スポーツ賞	団体	とうしば 東芝ブレイブサンダ ース神奈川	64年	実践	川崎市幸区
アゼリア輝賞	個人	ほそかわ ちひろ 細川 千尋	26歳	芸術	川崎市高津区
	個人	みてら さとみ 三寺 郷美	28歳	芸術	東京都江東区

川崎市文化賞受賞者のプロフィール

しろたに まもる
城谷 護

～川崎の市民演劇をリードし、腹話術では笑顔を届ける～

地域演劇の創り手として、55年間京浜協同劇団で「地域から発信する演劇」づくりに邁進しながら、「かわさき演劇まつり」や「ヤングミュージカル」、「川崎郷土・市民劇」などの制作に携わってきました。川崎市の市民演劇をリードする存在です。

数少ないプロ腹話術師としても活躍されており、相棒の「ゴローちゃん」との軽妙な語りで笑顔を届けています。また、全国各地どこにでも飛んでいき、被災地での激励公演は300回以上を数えます。

行政委員や文化団体の役員も多数務められ、川崎市の文化芸術の振興に貢献されています。

略 歴	
氏 名	城谷 護 様 (73 歳)
住 所	川崎市幸区
川崎市における 在住年数	54 年 (昭和 35 年 1 月～現在)
職 業	腹話術師、演劇人
昭和 34 年	川崎協同劇団 (のちの京浜協同劇団) 入団 (～現在)
昭和 57 年	京浜協同劇団代表委員・代表 (23 年間)
昭和 60 年	腹話術をはじめ
平成 6 年	全日本リズム演劇会議事務局長 (～現在)
平成 8 年	川崎文化会議議長 (～現在) 川崎市総合文化団体連絡会理事 (～現在)
平成 11 年	川崎市長表彰 (総文連理事)
平成 13 年	腹話術師としてプロデビュー 市民文化パートナーシップかわさき第 1 回顕彰 (腹話術)
平成 14 年	川崎市青少年舞台芸術活動実行委員 (5 年間)
平成 17 年	川崎市市民活動センター理事 (4 年間) 腹話術の会★きずな結成、代表 (～現在)
平成 18 年	川崎郷土・市民劇制作 (～現在)
平成 21 年	川崎市文化芸術振興会議委員 (～現在) 雲仙ふるさと大使に任命 (腹話術) (長崎県雲仙市)
平成 22 年	川崎市社会教育委員 (～現在)
<p>【推薦理由】</p> <p>地域演劇の作り手として、自らが所属する劇団のみならず、市全体の演劇文化の発展にも寄与してきた。</p> <p>腹話術では、数少ないプロとして活躍するほか、全国各地の災害被災地で数多くのボランティア活動を行っている。また、「腹話術の会★きずな」では後進の育成に力を注いでいる。</p> <p>また、様々な市の委員等を務め、長年に渡り文化行政に協力してきたほか、文化団体の代表として、本市の文化芸術の発展に尽力している。</p> <p>【推薦者】</p> <p>川崎文化会議副議長 関昭三</p>	

川崎市文化賞受賞者のプロフィール

てらお よしたけ
寺尾 嘉剛

～様々な立場から市の文化振興に貢献～

川崎信用金庫時代より、市内小学生対象の絵画・作文コンクールやオーケストラの音楽活動への協賛などの文化事業を牽引。川崎市文化財団理事長時代には、ミューザ川崎シンフォニーホールでの魅力的なコンサート事業などにより、ホールの世界的名声の獲得に成功されました。「音楽のまち・かわさき」推進協議会の設立時や、川崎市を代表する文化事業である川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）や、モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき等にも携わられるなど、本市の文化振興に大きく貢献されています。

略 歴	
氏 名	寺尾 嘉剛 様 (79 歳)
住 所	川崎市川崎区
川崎市における 在住年数	79 年 (昭和 10 年 5 月～現在)
職 業	(公財) 川崎市文化財団理事 (顧問)
平成 12 年	川崎市文化財団監事
平成 16 年	「音楽のまち・かわさき」推進協議会役員 (～平成 17 年) 川崎信用金庫理事長退任
平成 17 年	川崎市文化財団理事長 (～平成 22 年) 川崎市文化芸術振興会議委員 (～平成 20 年)
平成 21 年	川崎・しんゆり芸術祭 (アルテリッカ・しんゆり) 顧問 (～現在)
平成 23 年	川崎市文化財団理事 (顧問) (～現在) モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさき顧問 (～現在)
<p>【推薦理由】</p> <p>川崎信用金庫理事長時代から市の文化事業や国際交流事業を支援するため、市内小学生対象の絵画・作文コンクールなどのこどもたちのための事業や音楽活動への協賛などを行ってきた。</p> <p>また、(公財) 川崎市文化財団役員や「音楽のまち・かわさき」推進協議会役員などとして「音楽のまちづくり」や「芸術のまちづくり」に貢献。川崎市が文化都市へと変貌を遂げる大きな力となった。</p> <p>【推薦者】</p> <p>(公財) 川崎市文化財団理事長 北條秀衛</p>	

川崎市文化賞受賞者のプロフィール

ならおか ともこ
奈良岡 朋子

～市の文化芸術の振興にも貢献する日本を代表する女優～

市内を拠点に活動する劇団民藝所属の日本を代表する女優、劇団代表者です。昭和 23 年に第一期生として民衆芸術劇場附属俳優養成所に入所して以来、舞台・映画・テレビなどで活躍され、数々の賞を受賞されています。

奈良岡氏の率いる劇団民藝は川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）に毎年参加し、そのほとんどの公演で同氏が主演されているほか、黒川にある稽古場で、毎年公演を行っています。また、市民を対象としたアート講座で講師も務められるなど、本市の文化芸術の振興に貢献されています。

略 歴	
氏 名	奈良岡 朋子 様 (84 歳)
住 所	東京都港区
川崎市における 在勤年数	32 年 (昭和 57 年～現在)
職 業	劇団民藝代表、女優
昭和 23 年	民衆芸術劇場付属俳優養成所一期生
昭和 25 年	劇団民藝創立に参加
昭和 38 年	文化庁芸術祭・奨励賞 (『狂気と天才』『夏の日、突然に』)
昭和 40 年	毎日映画コンクール 女優助演賞 (「証人の椅子」)
昭和 44 年	紀伊國屋演劇賞 (『かもめ』『しあわせな日々』)
昭和 45 年	毎日映画コンクール 女優助演賞 (「地の群れ」「どですかでん」)
昭和 53 年	日本アカデミー賞 優秀助演女優賞 (「はなれ瞽女おりん」)
昭和 56 年	菊田一夫演劇賞 (『放浪記』『南の風』)
平成 14 年	ブルーリボン賞 助演女優賞 (「ホテル」)
平成 14 年	日本アカデミー賞 優秀助演女優賞 (「ホテル」)
平成 17 年	文化庁芸術祭・大賞 (『ドライビング・ミス・デイジー』)
平成 18 年	毎日芸術賞 (『火山灰地』『ドライビング・ミス・デイジー』)
平成 18 年	朝日舞台芸術賞 (『火山灰地』『ドライビング・ミス・デイジー』)
平成 20 年	読売演劇大賞 優秀女優賞 (『坐漁荘の人びと』)
【推薦理由】	
<p>劇団民藝の稽古場が川崎市に移転した昭和 57 年以來、劇団民藝は地域との連携を深めるべく活動してきた。奈良岡氏はその中心メンバーとして劇団を牽引してきた。また、劇団民藝は川崎・しんゆり芸術祭で 6 年連続公演を行い、奈良岡氏はそのうち 5 回主演を勤めているほか、市民を対象としたアート講座の講師も務めた。</p> <p>奈良岡氏の活動は本市の文化芸術の発展、舞台芸術の質の向上、発展に大きく寄与している。</p>	
【推薦者】	
(公財) 川崎市文化財団理事長 北條秀衛	

川崎市文化賞受賞者のプロフィール

ろばた かい 炉端の会

～古民家に息吹を灯す囲炉裏の火～

日本民家園の古民家を虫害や湿気から守るために囲炉裏で火を焚き、貴重な文化財を後世に伝える活動を行う、今年で設立 20 周年を迎えたボランティア団体です。会員は 250 名以上、年間活動日数も 250 日を超え、精力的に活動しています。

囲炉裏で火を焚く活動のほか、囲炉裏端でお客様を迎える床上公開や、団体ガイドなどを行うほか、有志による障子張りや英語ガイド、広報をはじめとする様々な活動を行っており、日本民家園には無くてはならない存在です。

略 歴	
団 体 名	炉端の会
所 在 地	川崎市多摩区
設 立	平成 6 年
代表者氏名	野田 滋郎
<p>平成 6 年 日本民家園の古民家保護活動を行うことを目的として炉端の会発足</p> <p>平成 7 年 団体ガイド開始</p> <p>平成 17 年 障子張り、環境整備、英語ガイド、フリーガイド活動開始</p> <p>平成 18 年 展示活動開始</p> <p>平成 24 年 広報活動開始</p> <p>平成 26 年 草バッタ作り活動開始</p>	
<p>【推薦理由】</p> <p>日本民家園内の古民家を虫害や湿気から守るために囲炉裏で火を焚くという文化財の保護活動を中心に園内のガイドや環境整備など、20 年間ボランティア活動を行い、日本民家園を支え続けており、その活動により、本市の文化財保護、文化財活用及び生涯学習環境に多大な貢献をしている。</p> <p>【推薦者】</p> <p>川崎市教育長 渡邊直美</p>	

川崎市社会功労賞受賞者のプロフィール

い だ みつお
井田 満夫

～歯科界を牽引し、歯科医療の向上に貢献～

昭和 50 年から現在まで歯科医師として、地域の歯科医療に尽力されてきました。また、昭和 58 年から 30 年以上に渡り、川崎市歯科医師会で役員等を務められ、歯科界全体の資質の向上を念頭に置いて、保健医療の適正化をはじめ、学術研究の充実を図って来られました。平成 21 年には会長に就任、現在約 530 名の会員を牽引されています。

また、保健衛生のみならず、様々な分野の行政委員等を数多く務められ、行政活動にも幅広く貢献されています。

略 歴	
氏 名	井田 満夫 様 (64 歳)
住 所	川崎市川崎区
川崎市における 在住年数	64 年 (昭和 25 年～現在)
職 業	歯科医師
平成 7 年	川崎市歯科医師会理事 (～平成 13 年 3 月) 神奈川県警察協力歯科医師 (～平成 21 年 3 月)
平成 8 年	川崎市保健所運営協議会委員 (～平成 17 年 3 月)
平成 11 年	川崎市保健衛生功労賞 公害監視会議委員 (～平成 13 年 3 月)
平成 13 年	川崎市歯科医師会専務理事 (～平成 15 年 3 月)
平成 15 年	川崎市歯科医師会副会長 (～平成 21 年 3 月) 神奈川県歯科医師会代議員 (～現在)
平成 17 年	神奈川県歯科医師会予算特別委員会委員 (～平成 19 年 3 月)
平成 18 年	神奈川県保健衛生表彰
平成 21 年	日本歯科医師会代議員 (～平成 25 年 3 月) 川崎市歯科医師会会長、川崎市食育推進会議委員、川崎市交通安全対策協議会委員、川崎市保健衛生事業団評議委員、市民健康づくり運動推進会議委員、川崎市社会福祉審議会委員、川崎市地域医療審議会委員 (～現在)
平成 22 年	かわさき男女共同参画ネットワーク委員、(～現在)
平成 23 年	かわさき保健・医療懇話会世話人 (～平成 26 年 3 月)
平成 24 年	ライフイノベーション地域協議会委員 (～現在)
平成 25 年	優良産業人表彰 川崎市ウエルフェアイノベーションフォーラムに参画 (～現在)
<p>【推薦理由】</p> <p>川崎市歯科医師会会長として、会の活動を牽引し、地域医療に貢献してきた。また、行政委員を多数歴任し、市の社会福祉向上に多大な貢献をしてきた。</p> <p>歯科医師としての技術の高さや人柄により、患者の信頼も厚く、歯科医師会会員からも信頼を得ている。</p> <p>【推薦者】</p> <p>(公社) 川崎市医師会会長 高橋章 (公社) 川崎市病院協会会長 内海通 (一社) 川崎市薬剤師会会長 嶋元 (公社) 川崎市看護協会会長 手島好子</p>	

川崎市スポーツ賞受賞者のプロフィール

とうしば かながわ 東芝ブレイブサンダース神奈川

～天皇杯と NBL の 2 冠達成～

市内を活動拠点とする、バスケットボール界を代表するチームです。今年 1 月、全日本総合バスケットボール大会（天皇杯）で優勝。又、昨年 10 月に発足した NBL（ナショナルバスケットボールリーグ）においても、5 月に 2013－2014 PLAYOFFS にイースタンカンファレンス 1 位で臨み、FINALS ではウエスタンカンファレンス 1 位と対戦、3 連勝し見事「NBL 初代チャンピオン」に輝きました。

同チームは、平成 16 年にかわさきスポーツパートナーに認定され、その活躍を通してスポーツの推進及び川崎市のイメージアップを図るほか、市内小学校でのふれあいスポーツ教室や、ホームゲームへの市民招待、市主催イベントへの参加など、積極的な地域貢献を行っています。

略 歴	
団 体 名	東芝ブレイブサンダース神奈川
所 在 地	川崎市幸区
設 立	昭和 25 年
代表者氏名	林 親弘（東芝バスケットボール部部長）
昭和 25 年	創部
昭和 30 年～昭和 49 年	関東実業団リーグにて活動
昭和 50 年	入替戦に勝利し、日本リーグ 2 部に昇格
昭和 57 年	日本リーグ 2 部優勝、第 58 回全日本総合選手権大会(天皇杯)準優勝
昭和 58 年	日本リーグ 1 部昇格
平成 9 年	日本リーグ準優勝
平成 10 年	日本リーグ準優勝
平成 11 年	日本リーグ優勝、第 75 回全日本総合選手権大会(天皇杯)優勝
平成 12 年	第 76 回全日本総合選手権大会(天皇杯)準優勝 川崎市スポーツ賞受賞
平成 13 年	チーム愛称「東芝ブレイブサンダース」制定
平成 15 年	スーパーリーグ（前日本リーグ）準優勝
平成 16 年	スーパーリーグ優勝 かわさきスポーツパートナーに認定
平成 17 年	第 81 回全日本総合選手権大会(天皇杯)優勝
平成 25 年 5 月	ジャパンバスケットボールリーグ（JBL）2012－2013 準優勝
平成 25 年	チーム愛称「東芝ブレイブサンダース神奈川」に改称
平成 26 年 1 月	第 89 回全日本総合選手権大会（天皇杯）優勝
3 月	川崎市スポーツ特別賞受賞
5 月	ナショナルバスケットボールリーグ(NBL：新リーグ)2013－2014 優勝
【推薦理由】	
同チームは、日本の男子バスケットボール界を代表するチームであり、川崎市スポーツパートナーとして、スポーツの推進、市のイメージアップにも取り組んでいる。	
今年 1 月に開催された第 89 回全日本総合選手権大会(天皇杯)で優勝、更にナショナルバスケットボールリーグ 2013－2014 でも優勝し 2 冠を獲得した。	
この顕著な成績及び長年に渡る川崎市への貢献により推薦する。	
【推薦者】	
川崎市市民・こども局長 加藤順一	

川崎市アゼリア輝賞受賞者のプロフィール

ほそかわ ちひろ
細川 千尋

～クラシック・ジャズ・作曲…多彩なピアニスト～

昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミーに所属するピアニストです。2歳からピアノを始め、クラシック部門で数々の賞を受賞。2013年にはモントルー・ジャズ・フェスティバル・ソロピアノコンペティションでファイナリストに輝きました。

川崎市では川崎・しんゆり芸術祭（アルテリッカしんゆり）や、モントルー・ジャズ・フェスティバル・ジャパン・イン・かわさきに出演され、好評を博しています。

クラシックから、ジャズ、作曲まで幅広く活躍され、将来を期待されるピアニストです。

略 歴	
氏 名	細川 千尋 様 (26 歳)
住 所	川崎市高津区
川崎市における 在住年数	6 年 (平成 20 年～現在)
職 業	ピアニスト
平成 19 年	第 5 回 RMS ファンタスティックピアノコンクール自由曲部門最優秀賞及びグランプリ受賞
平成 21 年	第 15 回全日本ジュニアクラシック音楽コンクール作曲部門大学生の部審査員特別賞受賞
平成 22 年	第 8 回 RMS ファンタスティックピアノコンクール課題曲部門優秀賞
平成 23 年	第 14 回ペルティカローリ教授賞ピアノコンクール優秀賞
平成 25 年	モントルー・ジャズ・フェスティバル・ソロピアノコンペティションファイナリスト
<p>【推薦理由】</p> <p>昭和音楽大学附属ピアノアートアカデミーに所属するピアニスト。2 歳からピアノを始め、数々の賞を受賞。昨年のモントルー・ジャズ・フェスティバル・ソロピアノコンペティションではファイナリストに選出されるなど、クラシックのみならず、ジャズや作曲など幅広い音楽活動を行い将来を大きく期待される若手ピアニストである。</p> <p>【推薦者】</p> <p>(公財) 川崎市文化財団理事長 北條秀衛</p>	

川崎市アゼリア輝賞受賞者のプロフィール

みてら さとみ
三寺 郷美

～独自のダンススタイル「踊るタップ」で魅了～

7歳からタップダンスを始め、クラシックバレエ、ジャズダンス、打楽器、アイリッシュダンスなど様々な分野を習得。それぞれの要素を組み込んだ、独自のダンススタイル「踊るタップ」を確立されました。平成25年度には文化庁芸術祭、大衆芸能の部新人賞を受賞されるなど、将来を期待されるダンサーです。

洗足学園音楽大学在学中に大学の仲間と結成した打楽器アンサンブルグループで川崎市を中心に、親子コンサートや、学校での音楽鑑賞教室、児童施設での訪問演奏を行うなど、社会貢献にも積極的に取り組まれています。

略 歴	
氏 名	三寺 郷美 様 (28 歳)
住 所	東京都江東区
川崎市における活動年数	10 年 (平成 16 年～現在)
職 業	舞踊家
<p>平成 22 年 Kawasaki Tap Dance Festival 優勝</p> <p>平成 24 年 Tap Dance World Championships 日本代表選出</p> <p>平成 25 年 平成 25 年度 (第 68 回) 文化庁芸術祭大衆芸能の部新人賞受賞</p>	
<p>【推薦理由】</p> <p>洗足学園音楽大学出身の舞踊家。パーカッションとして想像しうる枠を超えたタップダンスを独自の表現方法として確立。タップダンスのみならず、アイリッシュダンスや歌舞伎など様々なものを取り込み、ジャンルを越えた舞踊で聴衆を圧倒。今後更なる活躍が期待される。</p> <p>また、在学中から川崎市を中心に親子コンサートや児童施設等での訪問演奏などを開催し、社会貢献活動も積極的に行っている。</p> <p>【推薦者】</p> <p>洗足学園音楽大学学長 万代晋也</p>	

平成26年度川崎市文化賞等選考委員 (50音順・敬称略)

氏名	分野	所属
あかつか みつこ 赤塚 光子	社会福祉	元立教大学教授 川崎市地域自立支援協議会会長
すずき のぼる 鈴木 登	保健衛生	聖マリアンナ医科大学教授
たなか せんいち 田中 宣一	学術 (民俗学)	元成城大学教授
ため ちか やすし 為近 康	スポーツ	テレビ神奈川
とくだ けんじ 徳田 賢二	産業経済	専修大学教授
はやし ようこ 林 容子	芸術 (美術)	尚美学園大学・大学院准教授
ふくとみ ただかず 福富 忠和	学術 (デジタルメディア)	専修大学教授
むらかみ あけみ 村上 明美	芸術 (音楽)	洗足学園音楽大学名誉教授
よこやま よしかず 横山 由和	芸術 (演劇)	昭和音楽大学准教授
すなだ しんじ 砂田 慎治	行政	副市長
こがねい つとむ 小金井 勉	行政	総務局長
わたなべ なおみ 渡邊 直美	行政	教育長
かとう じゅんいち 加藤 順一	行政	市民・こども局長

平成26年度川崎市文化賞等贈呈式について

- 1 日 時 平成26年11月10日（月）
14：00～15：00

- 2 会 場 川崎市国際交流センター
川崎市中原区木月祇園町2-2
電話044-435-7000（代）

- 3 式次第 開式
川崎市文化賞等贈呈
主催者あいさつ
来賓代表あいさつ
受賞者代表あいさつ
閉式

川崎市文化賞等実施要綱

(目的)

第1条 川崎市の文化、芸術、地域社会、市民福祉及びスポーツ等の各分野において、その向上及び発展に尽力し、その功績顕著な個人又は団体に対し、川崎市文化賞等を贈呈し、文化の向上及び発展に寄与することを目的とする。

(名称)

第2条 川崎市文化賞等の名称は、次の各号のとおりとする。

- (1) 川崎市文化賞
- (2) 川崎市社会功労賞
- (3) 川崎市スポーツ賞
- (4) 川崎市アゼリア^{かがやき}輝賞

(主催)

第3条 川崎市文化賞等の主催は、川崎市とする。

(対象分野等)

第4条 川崎市文化賞等の対象となる分野、推薦基準等については、別表のとおりとする。

(候補者の推薦)

第5条 川崎市文化賞等に係る受賞の対象となる候補者については、次の各号に定めるものの推薦による。

- (1) 市内の関係機関及び団体
- (2) 各局(室)区長

(受賞者の決定)

第6条 川崎市文化賞等に係る受賞者は、前条に規定する団体等の推薦に基づき川崎市文化賞等選考委員会(以下「選考委員会」という。)の議を経て、市長が決定する。

(選考委員会)

第7条 選考委員会の組織及び運営については、別に定める。

(表彰)

第8条 第6条の規定により、決定した者について、賞状及び副賞を贈呈し、これを表彰する。

(特別賞)

第9条 市長は、この要綱に定めるもののほか、特に顕著な活躍をし、功績があった個人又は団体に対し、川崎市文化賞等選考委員会の議を経ずに特別賞を贈呈することができる。

(庶務)

第10条 川崎市文化賞等贈呈に関する庶務は、市民・こども局において処理する。

(その他)

第11条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、別に定める。

附 則

この要綱は、平成3年7月24日から施行する。

附 則

この要綱は、平成14年5月29日から施行する。

附 則

この要綱は、平成15年5月27日から施行する。

附 則

この要綱は、平成17年9月12日から施行する。

附 則

この要綱は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この要綱は、平成21年5月1日から施行する。

川崎市文化賞等受賞対象分野、推薦基準等一覧表

No.1

	分野	内 容	推 薦 基 準
文 化 賞	教 育	教育研究、教育実践	<p>1 個人</p> <p>川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、川崎市における文化の向上、発展に尽力し、また貢献し、とくにその功績顕著な者。</p> <p>2 団体</p> <p>概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をとおして川崎市における文化の向上、発展にとくに貢献した団体。</p>
	学 術	人文科学、社会科学、自然科学	
	芸 術	絵画、彫刻、版画、写真、音楽、演劇、文芸、芸能など	
	文化活動	国際文化交流、地域文化の創造、普及及び振興、文化財の発掘、調査、保存及び継承など	
社 会 功 労 賞	社会福祉	児童、母子、老人、身体障害者及び知的障害者などの福祉活動	<p>1 個人</p> <p>川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、概ね10年以上の活動をとおして川崎市における市民生活の向上、発展にとくに貢献した者。</p> <p>2 団体</p> <p>概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をとおして川崎市における市民生活の向上、発展にとくに貢献した団体。</p>
	保健衛生	保健衛生、医療	
	産業、経済	産業、経済の振興と社会への貢献	
	地域振興	地域社会の発展、交流及び連携の促進、自然環境の保全、回復育成など	

川崎市文化賞等受賞対象分野、推薦基準等一覧表

No.2

	分野	内容	推薦基準
スポーツ 賞	スポーツ 実践	大会等の記録、成績	<ol style="list-style-type: none"> 1 国際大会に入賞した個人又は団体。(注^{1,2}参照) 2 国内大会に2年連続優勝又はこれに準じた成績を残した個人又は団体。(注^{1,2}参照) 3 競技人口が多く、レベルの高い国内大会に優勝又はこれに準じた成績を残した個人又は団体。(注¹参照) 4 日本新記録など特に優秀な記録を残した個人又は団体。(注¹参照) 5 スポーツ向上に貢献した功績が顕著な者。(注¹参照) <p>(注¹) ここでいう「個人又は団体」とは、川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人又は団体をいう。</p> <p>(注²) 対象となる大会は、次のとおりとする。</p> <p>ア 国際大会 オリンピック、世界選手権大会(ワールドカップ)、アジア大会、ユニバーシアード、パラリンピック、フェスティックその他これに準じた大会</p> <p>イ 国内大会 日本選手権大会、全日本学生選手権大会、全国高校総合体育大会、国民体育大会、全国障害者スポーツ大会、その他これに準じた大会</p>
	スポーツ 振興	スポーツの普及、振興	<ol style="list-style-type: none"> 1 個人 川崎市民もしくは川崎市にゆかりのある個人であり、概ね10年以上の活動をとおして川崎市におけるスポーツの向上、発展にとくに貢献した者。 2 団体 概ね10年以上の継続した活動をしている団体であり、活動をとおして川崎市におけるスポーツの向上、発展にとくに貢献した団体。

川崎市文化賞等受賞対象分野、推薦基準等一覧表

No.3

	分野	内容	推薦基準
ア ゼ リ ア 輝 賞	文 化 芸 術	学 術 音 楽 美 術 文 学 演 劇 写 真 舞 踊 スポーツ等	<p>1 若年層及び中堅層の個人又は団体</p> <p>(1) 個展・演奏会・公演・講演等の活動において現在活躍中の若年層及び中堅層で、さらに今後の活躍が特に期待される個人又は団体。</p> <p>(2) 川崎らしい特色ある活動をしている個人又は団体、特定の分野における抜群の成果を収めた個人又は団体。</p> <p>(3) 各部門においてその年に顕著な業績をあげ、広く市民に希望と感動をもたらした個人又は団体。</p>

川崎市文化賞等をこれまでに受賞された方々(敬称略)

No. 1

昭和47年度(第1回)	昭和56年度(第10回)	昭和63年度(第17回)	
安藤 英輔 (研究活動)	奥田 千秋 (保健衛生)	井上 房江 (保健衛生)	
石川 八代次 (教育実践)	芹澤 忠蔵 (社会福祉)	竹田 道太郎 (芸術)	
伊藤 六郎兵衛 (郷土史研究)	野本 琢 (社寺建築)	土方 恵治 (教育)	
大古 誠司 (スポーツ実践)	藤子不二雄 (児童漫画)	水原 春郎 (地域医療)	
川崎市民交響楽団 (音楽)	京浜協同劇団 (地域文化)	三井 春富 (文化交流)	
斉藤 茂 (美術)	昭和57年度(第11回)		
中原 誠 (一般文化)	植松 正子 (母子保健)	幸の会 (社会福祉)	
昭和48年度(第2回)			
圓鍔 勝二[勝三] (美術)	高野 榮 (障害者福祉)	平成元年度(第18回)	
笠井 儀郎 (スポーツ実践)	田邊 秀治 (社会福祉)	内海 榮一郎 (地域医療)	
庄野 潤三 (文芸)	松原 秀耕 (文化振興)	奥田 良三 (芸術)	
高島 松柏 (教育実践)	山田 太一 (文芸)	柏木 武司 (社会福祉)	
日本鋼管株式会社硬式野球部 (スポーツ実践)	川崎古式消防纏保存会 (文化財保護)	亀ヶ谷 利男 (文化財保護)	
昭和49年度(第3回)		手塚 彌太郎 (産業振興)	
太田 清一 (保健衛生)	昭和58年度(第12回)		
小笠原 洪一 (スポーツ実践)	嘉重 きよ (社会福祉)	野谷 博司 (教育)	
金子 直蔵 (社会福祉)	古尾谷 盛太郎 (地域文化)	三宅 忠雄 (保健衛生)	
山室 静 (文芸)	前田 徳尚 (保健衛生)	東芝女子バスケットボール部 (スポーツ実践)	
結城 正雄[天童] (美術)	森 爽海 (教育)	平成2年度(第19回)	
昭和50年度(第4回)		石川 幾蔵 (地域文化)	
川嶋 廣吉 (保健衛生)	川崎市歯科医師会心身障害児 (社会福祉)	一ノ瀬 志郎 (保健衛生)	
齋藤 壽一 (絵画)	歯科治療協力医グループ	小川 信夫 (教育)	
島田 きみ (社会福祉)	科学技術学園高等学校 (スポーツ実践)	小黒 恵子 (芸術)	
藤田 親昌 (文化振興)	川崎野球部<通信制>	小西 乾太郎 (文化振興)	
松尾 興助 (社会教育)	人形劇団ひとみ座 (演劇)	濱田 靖一 (学術)	
昭和51年度(第5回)		さざなみ会 (社会福祉)	
大山 義隆 (保健衛生)	昭和59年度(第13回)		
國枝 慶一 (社会福祉)	石川 芳松 (文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)	
久保 常晴 (学術)	磯野 和久 (保健衛生)	アメリカンフットボール部	
濱田 庄司 (美術)	臼田 吉男 (保健衛生)	平成3年度(第20回)	
まど・みちお (文学)	小野寺 章彦 (スポーツ実践)	文化賞	井上 和賀雄 (教育)
多摩芸術学園「わが町一溝の口」(演劇)	柏倉 政男 (社会福祉)	社会功労賞	市川 昭介 (芸術)
構成・出演者一同	小林 英男 (地域文化)		日本電気玉川吹奏楽団 (芸術)
昭和52年度(第6回)		スポーツ賞	安藤 武次 (社会福祉)
高橋 憲太郎 (文化振興)	長江 録弥 (芸術)	山田 敬蔵 (スポーツ振興)	松田 文太郎 (保健衛生)
馬來田 善孝 (美術)	前田 豊子 (教育)		三木 齊 (産業経済)
宮田 多良喜 (スポーツ振興)	昭和60年度(第14回)		東芝野球部 (スポーツ実践)
川崎沖縄芸能研究会 (文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)	文化賞	富士電機女子バレーボール部 (スポーツ実践)
昭和53年度(第7回)			平成4年度(第21回)
麻生 三郎 (美術)	岡 時義 (社会福祉)	社会功労賞	文化賞
渡辺 三郎 (保健衛生)	栗田 正文 (保健衛生)		井上 和賀雄 (教育)
市川 昇 (文化振興)	馬場 あき子 (芸術)	スポーツ賞	市川 昭介 (芸術)
小向・菅・初山の獅子舞保存会 (文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)		日本電気玉川吹奏楽団 (芸術)
河上 徹太郎 (文芸)	米山 市郎 (地域文化)	平成5年度(第22回)	
東芝野球部 (スポーツ実践)	禰宜舞保存会 (文化財保護)	文化賞	文化賞
中山 貞治 (社会福祉)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)		市川 昭介 (芸術)
昭和54年度(第8回)		昭和61年度(第15回)	
青江 舜二郎 (演劇)	フェンシング部	社会功労賞	文化賞
石井 展子 (社会福祉)	井田 潔 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
齋藤 武雄 (スポーツ振興)	岡 時義 (社会福祉)	スポーツ賞	文化賞
田中 利三 (保健衛生)	栗田 正文 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
箕輪 敏行 (社会教育)	馬場 あき子 (芸術)	平成6年度(第23回)	
新城郷土芸能保存会 (文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)	文化賞	文化賞
昭和55年度(第9回)			社会功労賞
岡 信孝 (芸術)	米山 市郎 (地域文化)	市川 昭介 (芸術)	
鈴木 弘治 (保健衛生)	禰宜舞保存会 (文化財保護)	スポーツ賞	市川 昭介 (芸術)
松井 浩正 (スポーツ振興)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)		市川 昭介 (芸術)
持田 春吉 (社会教育)	フェンシング部	昭和62年度(第16回)	
横山 央 (社会福祉)	井田 潔 (保健衛生)	文化賞	文化賞
川崎少年少女合唱団 (地域文化)	岡 時義 (社会福祉)		市川 昭介 (芸術)
昭和56年度(第10回)		社会功労賞	文化賞
奥田 千秋 (保健衛生)	栗田 正文 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
芹澤 忠蔵 (社会福祉)	馬場 あき子 (芸術)	スポーツ賞	文化賞
野本 琢 (社寺建築)	坂東 忠彦 (教育)		市川 昭介 (芸術)
藤子不二雄 (児童漫画)	米山 市郎 (地域文化)	平成7年度(第24回)	
水原 春郎 (地域医療)	禰宜舞保存会 (文化財保護)	文化賞	文化賞
三井 春富 (文化交流)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)		市川 昭介 (芸術)
昭和57年度(第11回)		社会功労賞	文化賞
植松 正子 (母子保健)	フェンシング部		市川 昭介 (芸術)
高野 榮 (障害者福祉)	井田 潔 (保健衛生)	スポーツ賞	文化賞
田邊 秀治 (社会福祉)	岡 時義 (社会福祉)		市川 昭介 (芸術)
松原 秀耕 (文化振興)	栗田 正文 (保健衛生)	平成8年度(第25回)	
山田 太一 (文芸)	馬場 あき子 (芸術)	文化賞	文化賞
川崎古式消防纏保存会 (文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)		市川 昭介 (芸術)
川崎青年会議所・高津青年会議 (地域文化)	米山 市郎 (地域文化)	社会功労賞	文化賞
野谷 博司 (教育)	禰宜舞保存会 (文化財保護)		市川 昭介 (芸術)
三宅 忠雄 (保健衛生)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)	スポーツ賞	文化賞
東芝女子バスケットボール部 (スポーツ実践)	フェンシング部		市川 昭介 (芸術)
昭和58年度(第12回)		文化賞	文化賞
嘉重 きよ (社会福祉)	井田 潔 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
古尾谷 盛太郎 (地域文化)	岡 時義 (社会福祉)	社会功労賞	文化賞
前田 徳尚 (保健衛生)	栗田 正文 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
森 爽海 (教育)	馬場 あき子 (芸術)	スポーツ賞	文化賞
川崎市歯科医師会心身障害児 (社会福祉)	坂東 忠彦 (教育)		市川 昭介 (芸術)
歯科治療協力医グループ	米山 市郎 (地域文化)	平成9年度(第26回)	
科学技術学園高等学校 (スポーツ実践)	禰宜舞保存会 (文化財保護)	文化賞	文化賞
川崎野球部<通信制>	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)		市川 昭介 (芸術)
人形劇団ひとみ座 (演劇)	フェンシング部	社会功労賞	文化賞
昭和59年度(第13回)			スポーツ賞
石川 芳松 (文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)	市川 昭介 (芸術)	
磯野 和久 (保健衛生)	岡 時義 (社会福祉)	文化賞	文化賞
臼田 吉男 (保健衛生)	栗田 正文 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
小野寺 章彦 (スポーツ実践)	馬場 あき子 (芸術)	社会功労賞	文化賞
柏倉 政男 (社会福祉)	坂東 忠彦 (教育)		市川 昭介 (芸術)
小林 英男 (地域文化)	米山 市郎 (地域文化)	スポーツ賞	文化賞
長江 録弥 (芸術)	禰宜舞保存会 (文化財保護)		市川 昭介 (芸術)
前田 豊子 (教育)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)	平成10年度(第27回)	
法政大学第二高等学校バレーボール部 (スポーツ実践)	フェンシング部	文化賞	文化賞
昭和60年度(第14回)			社会功労賞
井田 潔 (保健衛生)	井田 潔 (保健衛生)	市川 昭介 (芸術)	
岡 時義 (社会福祉)	岡 時義 (社会福祉)	スポーツ賞	文化賞
栗田 正文 (保健衛生)	栗田 正文 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
馬場 あき子 (芸術)	馬場 あき子 (芸術)	昭和61年度(第15回)	
坂東 忠彦 (教育)	坂東 忠彦 (教育)	文化賞	文化賞
米山 市郎 (地域文化)	米山 市郎 (地域文化)		市川 昭介 (芸術)
地域文化)	禰宜舞保存会 (文化財保護)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	フェンシング部	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)	平成11年度(第28回)	
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)	文化賞	文化賞
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	米山 市郎 (地域文化)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	禰宜舞保存会 (文化財保護)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	フェンシング部	昭和62年度(第16回)	
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)	文化賞	文化賞
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	米山 市郎 (地域文化)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	禰宜舞保存会 (文化財保護)	平成12年度(第29回)	
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)	文化賞	文化賞
文化財保護)	フェンシング部		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)	昭和63年度(第17回)	
文化財保護)	米山 市郎 (地域文化)	文化賞	文化賞
文化財保護)	禰宜舞保存会 (文化財保護)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	フェンシング部		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)	平成13年度(第30回)	
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)	文化賞	文化賞
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	米山 市郎 (地域文化)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	禰宜舞保存会 (文化財保護)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	フェンシング部		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)	昭和64年度(第18回)	
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)	文化賞	文化賞
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	米山 市郎 (地域文化)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	禰宜舞保存会 (文化財保護)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)	平成14年度(第31回)	
文化財保護)	フェンシング部	文化賞	文化賞
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	米山 市郎 (地域文化)	昭和65年度(第19回)	
文化財保護)	禰宜舞保存会 (文化財保護)	文化賞	文化賞
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	フェンシング部	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)	平成15年度(第32回)	
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)	文化賞	文化賞
文化財保護)	米山 市郎 (地域文化)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	禰宜舞保存会 (文化財保護)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	フェンシング部	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)	昭和66年度(第20回)	
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)	文化賞	文化賞
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	米山 市郎 (地域文化)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	禰宜舞保存会 (文化財保護)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	フェンシング部	平成16年度(第33回)	
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)	文化賞	文化賞
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	米山 市郎 (地域文化)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	禰宜舞保存会 (文化財保護)	昭和67年度(第21回)	
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)	文化賞	文化賞
文化財保護)	フェンシング部		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)	平成17年度(第34回)	
文化財保護)	米山 市郎 (地域文化)	文化賞	文化賞
文化財保護)	禰宜舞保存会 (文化財保護)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	フェンシング部		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)	昭和68年度(第22回)	
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)	文化賞	文化賞
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	米山 市郎 (地域文化)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	禰宜舞保存会 (文化財保護)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	フェンシング部		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)	平成18年度(第35回)	
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)	文化賞	文化賞
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	米山 市郎 (地域文化)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	禰宜舞保存会 (文化財保護)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)	昭和69年度(第23回)	
文化財保護)	フェンシング部	文化賞	文化賞
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	米山 市郎 (地域文化)	平成19年度(第36回)	
文化財保護)	禰宜舞保存会 (文化財保護)	文化賞	文化賞
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	フェンシング部	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)	昭和70年度(第24回)	
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)	文化賞	文化賞
文化財保護)	米山 市郎 (地域文化)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	禰宜舞保存会 (文化財保護)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	フェンシング部	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)	平成20年度(第37回)	
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)	文化賞	文化賞
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	米山 市郎 (地域文化)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	禰宜舞保存会 (文化財保護)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)	法政大学第二高等学校 (スポーツ実践)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	フェンシング部	昭和71年度(第25回)	
文化財保護)	井田 潔 (保健衛生)	文化賞	文化賞
文化財保護)	岡 時義 (社会福祉)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	栗田 正文 (保健衛生)	社会功労賞	文化賞
文化財保護)	馬場 あき子 (芸術)		市川 昭介 (芸術)
文化財保護)	坂東 忠彦 (教育)	スポーツ賞	文化賞
文化財保護)			

平成6年度(第23回)(続き)		平成13年度(第30回)(続き)		平成20年度(第37回)	
社会功労賞	近藤 俊朗 (社会福祉)	社会功労賞	壁 義彰 (社会福祉)	文化賞	与 勇輝 (芸術)
	原 泰造 (社会福祉)		窪田 敏昭 (保健衛生)		佐藤 忠男 (芸術)
スポーツ賞	高橋 三代子 (スポーツ実践)		小峯 利一 (産業経済)	社会功労賞	宮川 政久 (保健衛生)
	神奈川県立住吉高等学校 (スポーツ実践)	平成14年度(第31回)			和田 義盛 (地域振興)
	フューティング部LANCERS	文化賞	中島 豪一 (文化活動)	スポーツ賞	川崎市立橋高等学校 (スポーツ実践)
平成7年度(第24回)			民具製作技術保存会 (文化活動)		ハレーボール部
文化賞	小川 一朗 (学術)	社会功労賞	芽の字会 (社会福祉)		富士通女子バスケットボール部 (スポーツ実践)
	久保 陽子&弘中 孝 (芸術)		松尾 成久 (保健衛生)	アゼリア輝賞	大矢 高弓 (芸術(美術))
	岡本 喜八 (芸術)		持田 俊夫 (産業経済)		廣田 美穂 (芸術(音楽))
社会功労賞	野呂 幸進 (社会福祉)	平成15年度(第32回)		国際貢献特別賞	中込 璋 (平和活動)
	田中 忠一 (保健衛生)	文化賞	神奈川県立多摩高等学校 (芸術)	平成21年度(第38回)	
	高橋 隆天 (地域振興)		合唱部	文化賞	加古 里子 (芸術)
スポーツ賞	隆三杉 太一 (スポーツ実践)	社会功労賞	齋藤 文夫 (文化活動)		佐藤 征一郎 (芸術)
	成田 真由美 (スポーツ実践)		大谷 金一 (社会福祉)	社会功労賞	金子 忠雄 (社会福祉)
平成8年度(第25回)			栗山 覚 (保健衛生)		久保木 弘 (保健衛生)
文化賞	碓井 正久 (教育)	スポーツ賞	吉野 辰男 (地域振興)	スポーツ賞	朝日 健太郎 (スポーツ実践)
	麻生フルハーモニー管弦楽団 (芸術)		三菱ふそう川崎硬式野球部 (スポーツ実践)		左澤 重明 (スポーツ振興)
	齋間 萬 (文化活動)	アゼリア輝賞	加藤 時太郎 (スポーツ振興)	アゼリア輝賞	大類 朋美 (芸術(音楽))
	中川 竹泰 (文化活動)		大平 貴之 (文化(天文))		真飛 聖 (芸術(演劇))
社会功労賞	馬嶋 喜多子 (社会福祉)		秦 江里奈 (芸術(音楽))	平成22年度(第39回)	
	鈴木 正一 (保健衛生)	平成16年度(第33回)		文化賞	藤嶋 昭 (学術・教育)
	日本アイ・ピー・エム株式会社 (地域振興)	文化賞	原田 尚彦 (学術)		白鳥 あかね (芸術(映画))
	川崎事業所		大矢 紀 (絵画)	社会功労賞	大山 泰弘 (社会福祉・産業経済)
スポーツ賞	三菱自動車川崎硬式野球部 (スポーツ実践)		角田 益信 (郷土史)		太田 正治 (保健衛生)
平成9年度(第26回)		社会功労賞	白野 明 (社会福祉)		中山 茂 (産業経済・地域振興)
文化賞	篠原 一 (教育)		かわさき自然調査団 (地域振興)	スポーツ賞	車 耕作 (スポーツ振興)
	東芝ラド・オン・ジャズ・オーケストラ (芸術)	スポーツ賞	目黒 友薫 (フェンシング)	アゼリア輝賞	小林 政高 (芸術(音楽))
	今村 昌平 (芸術)	アゼリア輝賞	李 相日 (映画(監督))		光岡 暁恵 (芸術(音楽))
	無羅多 正建 (文化活動)		三瓶 将廣 (ハイスクールモクロス)	スポーツ特別賞	東芝野球部 (スポーツ実践)
社会功労賞	小川 玉子 (社会福祉)	平成17年度(第34回)			川島 永嗣 (スポーツ実践)
	田辺 誠 (保健衛生)	文化賞	横山 榮二 (環境保全)		稲本 潤一 (スポーツ実践)
スポーツ賞	上野 富夫 (スポーツ振興)		鶴澤 久 (能楽)		中村 憲剛 (スポーツ実践)
平成10年度(第27回)		社会功労賞	安藤 國男 (障害者福祉)		中村 俊輔 (スポーツ実践)
文化賞	芳賀 周一郎 (教育)		斉藤 二郎 (地域福祉)		森本 貴幸 (スポーツ実践)
	藤村 志保 (芸術)		田中 辰彦 (地域医療)		鄭 大世 (スポーツ実践)
	細山郷土資料館 (文化活動)	スポーツ賞	中田 大輔 (トランポリン)	平成23年度(第40回)	
社会功労賞	林 壽男 (社会福祉)	アゼリア輝賞	神谷 百子 (芸術(音楽))	文化賞	青木 信雄 (教育)
	田山 四郎 (保健衛生)		松下 京介 (芸術(音楽))		井口 衛 (教育)
	福嶋 三郎 (産業経済)	スポーツ特別賞	三菱ふそう川崎硬式野球部 (スポーツ実践)		高野 映子 (文化活動)
スポーツ賞	佐々木 竹見 (スポーツ実践)		東芝ブレイブサンダース (スポーツ実践)	社会功労賞	朗読ボランティアグループ「さんざし」 (社会福祉)
	日野原 守 (スポーツ振興)	平成18年度(第35回)			小島 春男 (地域振興)
平成11年度(第28回)		文化賞	小川 典子 (ピアノ)		(財)川崎市国際交流協会 (地域振興)
文化賞	杉本 長治 (教育)		小池 汪 (写真)		日本語講座ボランティア
	三輪 晃久 (芸術)		藤田 朝也 (演劇)	音楽特別賞	後藤 正孝 (ピアノ)
社会功労賞	電機連合神奈川県地方協議会 (社会福祉)	社会功労賞	奥村 栄 (社会福祉)	スポーツ特別賞	宇津木 瑠美 (スポーツ実践)
	池田 宏 (保健衛生)		杉浦 芳子 (地域医療)	平成24年度(第41回)	
	栗原 福蔵 (産業経済)	スポーツ賞	齊藤 義晴 (スポーツ振興)	文化賞	江頭 秀夫 (文化活動)
	間島 快子 (地域振興)	アゼリア輝賞	後藤 正孝 (芸術(音楽))		和田 あき子 (文化活動)
スポーツ賞	伊東 浩司 (スポーツ実践)		平原 綾香 (芸術(音楽))	社会功労賞	萩原 保夫 (社会福祉)
平成12年度(第29回)		スポーツ特別賞	富士通アリアソフトボール部 (スポーツ実践)		間瀬 実 (保健衛生)
文化賞	篠田 卓夫 (教育)	平成19年度(第36回)		スポーツ賞	専修大学体育会サッカー部 (スポーツ実践)
	渡辺 豊重 (芸術)	文化賞	秋山 和慶 (音楽)	アゼリア輝賞	垣内 悠希 (芸術(音楽))
	吉田 喜重 (文化活動)		森川 定實 (平和運動)		毛利 文香 (芸術(音楽))
社会功労賞	小林 五代子 (社会福祉)	社会功労賞	石井 哲夫 (社会福祉)	スポーツ特別賞	市立橋高等学校女子バレーボール部 (スポーツ実践)
	工藤 昭 (産業経済)		小泉 一郎 (産業経済)		立石 諒 (スポーツ実践)
スポーツ賞	東芝男子バスケットボール部 (スポーツ実践)	スポーツ賞	法政大学アリアソフトボール部 (スポーツ実践)		
	伊丹 寅吉 (スポーツ振興)		春日山部屋 (スポーツ振興)		
平成13年度(第30回)		アゼリア輝賞	須藤 梨菜 (芸術(音楽))		
文化賞	森久保 安美 (教育)		成海 璃子 (芸術(演劇))		
	名渡山 兼一 (文化活動)	スポーツ特別賞	東芝野球部 (スポーツ実践)		
	上田 恒三 (文化活動)				

平成25年度(第42回)	
文化賞	(公財)東京交響楽団 (芸術)
社会功労賞	高橋 章 (保健衛生)
	都倉 正明 (産業・経済)
	飯田 和子 (地域振興)
スポーツ賞	井端 弘和 (スポーツ実践)
	柿生青少年柔道会 (スポーツ振興)
アゼリア輝賞	内田 けんじ (芸術(映画))
	昆 夏美 (芸術(音楽))
スポーツ特別賞	大久保 嘉人 (スポーツ実践)
	東芝ブレイブサンダース神奈川 (スポーツ実践)

川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞・アゼリア輝賞・特別賞の経過について

川崎市文化賞等は、川崎市の文化、芸術、地域社会、市民福祉及びスポーツ等の各分野において、その向上及び発展に尽力し、その功績顕著な個人または団体に対し、川崎市文化賞等を贈呈し、文化の向上及び発展に寄与することを目的とする。

1. 制定 昭和47年（第1回贈呈式 昭和47年11月3日）
 - (1) 平成3年度第20回を契機に川崎市文化賞を「川崎市文化賞・社会功労賞・スポーツ賞」に改正
 - (2) 平成15年度第32回に新たにアゼリア輝賞を新設
 - (3) 平成17年度第34回に特別賞を新設

2. 賞の内容

- (1) 賞状
- (2) 副賞 文化賞・社会功労賞・スポーツ賞（30万円）
アゼリア輝賞（10万円）、特別賞（10万円）
- (3) 記念品
 - ・文化賞・社会功労賞・スポーツ賞については、渡辺豊重氏デザインによるガラス作品「Heart for You」
 - ・アゼリア輝賞・特別賞については、平山義氏デザインによるガラス作品「燦」
※制作は東京ガラス工芸研究所

3. 受賞者総数

(昭和47年から平成26年まで)	個人	266	(特別賞を含む)
	団体	62	(特別賞を含む)
	計	328	

4. 分野別受賞者

() 内は団体（再掲）

文化賞		社会功労賞		スポーツ賞		アゼリア輝賞	
教育	28	社会福祉	43(8)	実践	35(20)	学術	1
学術	9	保健衛生	40	振興	15(2)	音楽	13
芸術	52(9)	産業経済	9	合計	50(22)	美術	1
文化活動	44(12)	地域振興	13(4)			演劇	4
合計	133(21)	合計	105(12)			スポーツ	1
						その他	2
						合計	22

特別賞	
合計	18(7)

5. 平成26年度推薦依頼先 158件（大学・各種団体他）

平成26年度
川崎市文化賞・川崎市社会功労賞・川崎市スポーツ賞・
アゼリア輝受賞者

川崎市文化賞



しろたに まもる
城谷 護



てらお よしたけ
寺尾 嘉剛

川崎市文化賞



©橋本哲
ならおか ともこ
奈良岡 朋子



ろばた かい
炉端の会

川崎市社会功労賞



いだ みつお
井田 満夫

川崎市スポーツ賞



とうしば かながわ
東芝ブレイブサンダース 神奈川

川崎市アゼリア輝賞



ほそかわ ちひろ
細川 千尋



みでら さとみ
三寺 郷美